

## 第230回:メッシとドログバ

今月9日の朝、マスコミの友人と電話で秘密コードネーム「バカボン」に関する意見交換を行い、続く話題がワールドカップのドイツ vs. ブラジル戦に移り、夕刊の見出しは「ブラジル歴史的な大敗！」で決まりだろうと意見の一致を見た。(事実日刊紙の多くがそう報じた)。「惨敗」を遥かに超える敗戦で、「カナリア泣く」くらいでは済まない未曾有の椿事だ。サッカー試合の7対1とは、プロ野球で20点取られて負けるに等しく、予選で敗退した日本ですらドイツに7点取られることはないだろう。ブラジルチームを突然パニックが襲ったとしか云いようがないが、正に「歴史的な大敗」だ。ブラジルチームがパニックに陥れば、国民にもパニックが伝染するのは当然で、暴徒の群集心理のなんとやらでブラジル各地で放火や強奪等の暴動が起きるに違いないとメディアは予測していたが、ヘッドラインを決めるとき、メディアはW杯の開催国に対する配慮もあって、社会不安を煽るようなネガティブな報道は避けたようだ。

新聞報道は各社の政治姿勢やスタンスによって異なる。もしも最近なにかと評判のよろしくない某大国が国技の卓球やバドミントン団体戦で「0勝5敗」級の惨敗を喫すると、品位に欠ける某フジ紙、某ゲンダイ紙は有頂天になって「中華帝国崩壊！」と見出しを打つだろうし、品位に欠ける日本人は欣喜雀躍して新聞を買いに走るだろう。少なくとも筆者は真っ先に買うね。こないだ地下鉄八丁堀のキオスクで、【絶望の中韓】韓国、3回目の破綻へ秒読み「反日路線」爆走で中国と心なか」と云うヘッドラインを見て、即座に夕刊フジを買ったくらいだから。(中身はたいしたことなかった)。そんなわけでコードネーム「バカボン」の政治分析のはずが、ワールドカップのせいで朝の勤務時間中の長電話になった。因みに中国はスポーツ大国だが中国で最も人気のあるサッカーのレベルが弱く、FIFA ランキングでも日本(46位)や韓国(57位)に遠く及ばず、赤道ギニアに次ぐ103位と云う情けないレベルに低迷しており、13億の民草は斉しく怒っている。

世界で最も人気のあるスポーツ・サッカーの楽しみ方は人それぞれだが、歴史的視点で捉えるのも一興だ。今朝アルゼンチンがPK戦でオランダを破り、決勝はドイツ vs. アルゼンチンとなった。どっちが優勝するかは筆者の知るところではないが、間違いないのは、これでアルゼンチンのリオネル・メッシは自国の英雄マラドーナや神様ペレと並ぶ歴史的な名選手の地位を得たことになる。昨年イギリスのサッカー誌「ワールドサッカー」は「歴代ベスト・イレブン」を発表した。得票順に紹介すると次の通りである。①ベッケンバウアー(独)、②マラドーナ(亜)、③ペレ(伯)、④クライフ(蘭)、⑤マルディーニ(伊)、⑥メッシ(亜)、⑦ヤシン(旧ソ連)、⑧ジダン(仏)、⑨ステファノ(亜)、⑩ムーア(英)、⑪カファー(伯)。世界の最優秀選手に贈られるFIFAバロンドール賞を過去3度も受賞しているメッシは、ジダンよりも上位ランクで既に歴史の仲間入りを果たしており、これまで彼の輝かしい経歴のなかで画竜点睛を欠いてきたワールドカップの実績も、決勝戦進出でほぼ達成されたことになる。これによりメッシはベッケンバウアー率いる西ドイツに敗れて準優勝に止まったオランダのヨハン・クライフと同じ立場に到達したことになる。

ドイツ対アルゼンチンの決勝戦は今月13日(日本時間14日)に行われるが、日曜日の夜に実況中継を観るヨーロッパのサッカーファンは欧州ドイツと南米アルゼンチンのどちらを応援するか、これまた興味津々だ。想像するに多くの欧州人は南米アルゼンチンを応援するだろう。ヨーロッパ人は中国人韓国人ほど品性

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

がアレではないが、今回のワールドカップ予選で日本チームがコートジボワールやコロンビアに敗れたニュースを聞いたワンさんやパクさんたちが大喜びしたのと似た心情は欧米人にもある。

ここで突然経済に話題を転じるが、いまの欧州、つまりユーロ諸国はドイツの一人勝ち、フランスはドイツの下に甘んじて、わずかながらの存在感を残しているものの、それ以外の国々は「万骨枯る」状況にある。そのドイツだが、ユーロに参加する前までは東ドイツの統合に伴う後遺症に長く苦しみ、経常赤字に悩む「負け組」で、一方イタリアは経常黒字が続く「勝ち組」であった。これが新通貨ユーロ導入後に立場が逆転し、欧州はドイツの一人勝ちになった。財政再建策が大きな経済負担となる国が多いユーロ諸国のなかで、いまのドイツは例外的存在だ。ドイツ経済が復活を遂げた最大の勝因は、労使合意に基づく賃金上昇率の凍結、失業手当の削減、公的年金の受給年齢引き上げ等、ドイツ国民に苦痛を強いる改革を断行し、国民もこれに耐えたことによる。それがドイツ企業の国際的な競争力復活に寄与し、現在の低失業率と健全財政をもたらした。ドイツ政府が決断したトルコ人の移民受け入れ政策も、つまるところ雇用コストの削減が目的であり、この戦略は経済的には成功を収めたものの、民族融和と云う厄介な問題も生みだし、ドイツ国内で大きな痛みを伴う改革となった。ドイツは構造改革の成功体験を他のユーロ圏諸国に要求したい考えのようだが、ユーロを構成するラテン、ガリア、チュートン、スラブ人たちの民族性や国民性は様々で、ふて寝しているスペイン人やギリシャ人に向かって、刻苦勉励のチュートン人が「Wake up and work !」と号令をかけたも効果はなく、国家間の軋轢を生むだけだろう。

今回の W 杯は日本にとって残念な結果に終わった。初戦に勝てば予選突破の可能性はあったかもしれないが、それを阻んだコートジボワールのドログバ、彼はたいした男だ。こどものころからフランスで生活しており、仏国籍を取得することは容易であったにも拘わらず、貧しい祖国コートジボワールを選択し、同国初の W 杯出場に導いたのは立派である。当時のコートジボワールは内戦により、政府派の南部と反政府派の北部に分裂していた。2005年10月、翌年の W 杯ドイツ大会出場を決めたドログバは、テレビカメラの前で土下座し、カメラに向かって「各地に住む全コートジボワールの皆さん、私たちは土下座してお願いします。お互いを許し合いましょう。偉大な国がいつまでも混乱し、いがみ合っていけません。武器を置き選挙をしましょう。そうすれば全てが良くなります」。このスピーチの一週間後に内戦は収まった。それにひきかえ優勝宣言して惨敗した日本、サッカーは口先で輸贏を争うゲームではない。ドログバの背負ってきた重い過去を思えば、(誰とは云わんが)ちゃらちゃらモードの日本選手が勝てるわけがなかったのは当然かな?(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年7月10日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040